

# 兵庫県立神崎工業高等学校 令和元年度 学校評価（教職員自己評価）

評価基準 ◎（よくできた） 5 / ○（できた） 4 / △（あまりできなかった） 2 / ×（できなかった） 1

《 ランク A 5.00～4.00 / B 3.99～3.00 / C 2.99～2.50 / D 2.49～2.00 / E 1.99～1.00 》

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年度	評価結果					評点	ランク	
					◎	○	△	×	無回答			
学 校 運 営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	「学級通信」・「学校だより」を発行するとともに「ホームページ」を通じて、保護者に可能な限り情報を公開する。	27	9	17	9	0	0	3.7	<b>B</b>	
				28	11	14	7	2	0	3.7	<b>B</b>	
				29	11	14	7	2	0	3.7	<b>B</b>	
	30	13	20	3	1	0	4.1	<b>A</b>				
	元	9	19	7	1	0	3.8	<b>B</b>				
	27	10	22	3	0	0	4.1	<b>A</b>				
	28	11	21	3	0	0	4.1	<b>A</b>				
	29	9	20	5	0	0	4.0	<b>B</b>				
	30	16	19	1	1	0	4.3	<b>A</b>				
元	12	20	3	1	0	4.1	<b>A</b>					
27	19	12	3	0	0	4.4	<b>A</b>					
28	21	13	1	0	0	4.5	<b>A</b>					
29	11	19	4	0	0	4.1	<b>A</b>					
30	19	15	2	1	0	4.3	<b>A</b>					
元	15	18	3	0	0	4.3	<b>A</b>					
学 校 運 営	生徒指導	生徒指導方針の確認と指導体制の推進	年度当初に生徒指導方針を生徒・職員に明確に説明し、定期的にその方針の達成状況を確認する。	27	10	21	4	0	0	4.1	<b>A</b>	
				28	15	14	3	3	0	4.0	<b>A</b>	
				29	15	16	2	1	0	4.2	<b>A</b>	
				30	10	25	2	0	0	4.2	<b>A</b>	
				元	13	19	2	1	1	4.2	<b>A</b>	
				27	13	20	2	0	0	4.3	<b>A</b>	
	28	17	16	2	0	0	4.4	<b>A</b>				
	29	16	16	2	0	0	4.4	<b>A</b>				
	30	8	20	7	2	0	3.7	<b>B</b>				
	元	16	16	4	0	0	4.2	<b>A</b>				
	27	7	22	6	0	0	3.9	<b>B</b>				
	28	14	17	4	0	0	4.2	<b>A</b>				
	29	10	21	3	0	0	4.1	<b>A</b>				
	30	15	16	6	0	0	4.1	<b>A</b>				
	元	12	20	4	0	0	4.1	<b>A</b>				
	26	斜線表示										
	27											
	29	24	10	0	0	0	4.7	<b>A</b>				
30	21	14	1	1	0	4.4	<b>A</b>					
元	24	12	0	0	0	4.7	<b>A</b>					
学 校 運 営	進路指導	進路指導体制の充実	進路指導に関する年間計画を作成し、組織的に指導する。	27	13	18	4	0	0	4.1	<b>A</b>	
				28	17	12	4	2	0	4.1	<b>A</b>	
				29	14	13	6	1	0	4.0	<b>B</b>	
				30	9	22	5	1	0	3.9	<b>B</b>	
	元	9	22	5	0	0	4.0	<b>B</b>				
	27	22	12	1	0	0	4.6	<b>A</b>				
	28	19	14	2	0	0	4.4	<b>A</b>				
	29	16	15	3	0	0	4.3	<b>A</b>				
	30	18	18	1	0	0	4.4	<b>A</b>				
	元	11	22	3	0	0	4.1	<b>A</b>				
	学 校 運 営	教職員の資質向上	実践的指導力の向上	いつでも公開授業ができる体制を整える。各学期に1回以上研究授業を行う。	27	10	17	7	1	0	3.8	<b>B</b>
					28	8	15	11	1	0	3.5	<b>B</b>
29					8	20	6	0	0	3.9	<b>B</b>	
30					17	14	5	1	0	4.1	<b>A</b>	
元		9	19	7	1	0	3.8	<b>B</b>				
27		8	17	8	2	0	3.6	<b>B</b>				
28		12	14	8	0	0	3.9	<b>B</b>				
29		9	19	5	1	0	3.9	<b>B</b>				
30		9	22	5	1	0	3.9	<b>B</b>				
元		5	22	7	2	0	3.6	<b>B</b>				

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年度	評価結果					評点	ランク			
					◎	○	△	×	無回答					
学 校 運 営	危機管理体制の整備	生徒に対する安全教育の充実	学校マニュアルに基づいて、不審者の侵入などの危機的事態への注意を喚起し、連絡の徹底を図る。	27	3	13	19	0	0	3.0	B			
				28	5	13	12	5	0	3.0	B			
				29	3	13	14	4	0	2.9	C			
				30	6	17	12	2	0	3.4	B			
				元	6	24	5	1	0	3.8	B			
				27	8	22	5	0	0	3.9	B			
	学校運営全般	学年・学級経営	学校教育目標達成に向けた学年・学級の具体的経営方針を立て、その実施に努力する。	28	8	17	8	1	0	3.7	B			
				29	9	18	6	1	0	3.8	B			
				30	8	20	8	1	0	3.7	B			
				元	7	23	3	3	0	3.8	B			
				学校運営全般	校務分掌	年度当初に、それぞれの分掌における重点目標を設定し、適宜取り組みについて評価・見直しをおこなう。	27	9	19	7	0	0	3.9	B
							28	13	17	3	2	0	4.0	A
29	14	13	4				3	0	3.9	B				
30	8	21	7				1	0	3.8	B				
元	8	22	4				1	1	3.9	B				
27	5	22	7				1	0	3.7	B				
P T A活動	P T Aとの連携	授業参観や、人権教育研修・保健講話などにおける研修会への参加により、学校を開き、生徒理解を深める。	28	7	24	4	0	0	4.0	B				
			29	6	21	4	3	0	3.7	B				
			30	11	19	5	2	0	3.9	B				
			元	6	22	8	0	0	3.7	B				
			教 育 課 程	自らから学び考える力の育成	生涯学習の視点に立った実践能力の育成	多様な選択科目や体験活動等を設定し、生徒の関心に応じた特色ある教育課程を編成する。	27	5	12	16	2	0	3.1	B
							28	9	16	8	2	0	3.6	B
29	6	18					8	2	0	3.5	B			
30	10	14					12	1	0	3.5	B			
元	5	21					7	1	2	3.6	B			
基礎・基本の定着	生徒の学力の把握と評価基準の設定	基礎学力テストを年5回以上実施し、生徒の学力を把握して、指導方法を工夫する。		27	18	16	1	0	0	4.5	A			
				28	17	12	5	1	0	4.1	A			
				29	11	15	6	2	0	3.8	B			
				30	11	23	3	0	0	4.1	A			
				元	12	18	5	1	0	4.0	B			
基礎・基本の定着	学ぶ喜びや達成感が味わえる指導方法の工夫	校外研修会等に積極的に参加し、魅力的な授業づくりの工夫をする。		27	6	13	13	3	0	3.2	B			
				28	9	12	10	4	0	3.3	B			
			29	6	14	12	2	0	3.3	B				
			30	4	19	10	4	0	3.2	B				
			元	8	13	9	6	0	3.2	B				
個 に 応 じ た 指 導 の 徹 底	評価方法の創意工夫	評価方法について、教科間の意見交換や教科内の研修会を各学期に1回以上実施して、多角的な評価方法を工夫する。	27	5	18	12	0	0	3.5	B				
			28	5	20	8	2	0	3.5	B				
			29	7	15	9	3	0	3.4	B				
			30	8	20	7	1	1	3.8	B				
			元	8	16	9	3	0	3.5	B				
	指導形態の工夫	生徒の実態を把握して、個に応じた指導をおこなう。	27	10	21	4	0	0	4.1	A				
			28	14	16	4	1	0	4.1	A				
			29	12	18	2	2	0	4.1	A				
			30	11	23	3	0	0	4.1	A				
			元	15	18	2	1	0	4.2	A				
特 別 活 動 (学 校 行 事 等)	自主的・実践的な活動の活性化	部活動の活性化や、生徒会活動の積極的な運営を進める。	27	9	21	4	1	0	3.9	B				
			28	13	18	4	0	0	4.1	A				
			29	9	22	3	0	0	4.1	A				
			30	15	18	4	0	0	4.2	A				
			元	5	25	5	1	0	3.8	B				
	特別活動(学校行事等)	学校行事の精選と行事内容の充実	学校行事検討委員会を開催し、行事の精選や行事内容の充実を図る。	27	15	15	4	0	0	4.2	B			
				28	8	18	8	1	0	3.7	B			
				29	6	17	7	4	0	3.4	B			
				30	19	13	4	1	0	4.2	A			
				元	9	24	2	1	0	4.1	A			
ボランティア活動	各種ボランティア活動への積極的な参加を促し、全生徒が1回以上参加する。	27	3	12	16	4	0	2.8	C					
		28	6	15	8	6	0	3.2	B					
		29	5	12	10	7	0	2.9	C					
		30	6	17	8	6	0	3.2	B					

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査 年度 元	評価結果					評点	ランク
					◎	○	△	×	無回答		
					8	15	10	3	0	3.4	<b>B</b>

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年度	評価結果					評点	ランク
					◎	○	△	×	無回答		
教育課程	芸術文化活動	文化的行事	文化祭（神工祭）で、専門科の実習内容や文化部の発表の場を設ける。	27	9	19	5	2	0	3.8	B
				28	13	17	4	1	0	4.1	A
				29	12	15	6	1	0	3.9	B
				30	16	19	2	0	0	4.3	A
				元	16	17	2	0	1	4.3	A
	各科の個性化	(機械科) 機械技術の基礎基本の定着	資格検定試験を受験させ、学習意欲の喚起を図る。	27	5	18	5	0	7	3.8	B
				28	11	0	1	0	0	4.8	A
				29	6	6	0	0	0	4.5	A
				30	19	13	4	0	1	4.3	A
		元	11	17	5	0	3	4.0	A		
		物づくりを中心とした課題に生徒の意欲関心を持たせる。	27	6	16	5	1	7	3.8	B	
			28	7	5	0	0	0	4.6	A	
			29	5	7	0	0	0	4.4	A	
		30	15	17	4	0	1	4.2	A		
		元	11	19	2	0	4	4.2	A		
		総合的な技術を習得させて、応用と創造の能力を育成する。	27	3	18	6	1	7	3.6	B	
28	7		5	0	0	0	4.6	A			
29	4		7	1	0	0	4.2	A			
30	9	23	4	0	1	4.0	A				
元	7	21	3	0	5	4.0	A				
(電気科) 工業の情報化・高度化に対応した情報技術の充実	資格検定試験を受験させ、学習意欲の喚起を図る。	27	5	14	5	1	10	3.7	B		
		28	3	2	1	0	0	4.2	A		
		29	2	5	0	0	0	4.3	A		
		30	16	13	1	0	7	4.5	A		
		元	16	15	1	0	4	4.4	A		
		工業基礎・電気実習・電気基礎・情報技術基礎など、科目の指導内容の精選をおこなう。	27	5	13	6	1	10	3.6	B	
28	1	5	0	0	0	4.2	A				
29	1	5	1	0	0	3.9	B				
30	7	19	4	0	7	4.0	B				
元	6	24	1	0	5	4.1	A				
意欲的に課題解決を行うように工夫をし、達成後、さらに次のステップへの意欲を持たせる。（第2種電気工事士受験等）	27	4	15	5	1	10	3.6	B			
	28	2	3	0	1	0	3.8	B			
	29	4	2	1	0	0	4.3	A			
	30	10	18	2	0	7	4.2	A			
	元	10	18	3	0	5	4.1	A			
	防災・安全教育	教員の防災教育に係わる指導力・実践力の向上	「生徒の命を守る」という教職員の意識と技術を高める。防災訓練を年2回行う。	27	13	17	5	0	0	4.1	A
28				15	16	3	0	0	4.3	A	
29				14	19	1	0	0	4.4	A	
30				24	12	1	0	0	4.6	A	
元				19	15	1	0	1	4.5	A	
人権教育	確かな人権意識の育成	人権教育HRや生活体験発表会において、生徒の身近な問題から相互に尊重し合う態度を育てる。	27	7	23	4	1	0	3.9	B	
			28	9	18	6	2	0	3.7	B	
			29	9	18	7	0	0	3.9	B	
			30	12	20	4	1	0	4.0	A	
			元	7	23	6	0	0	3.9	B	
情報教育	情報モラルの育成	情報発信に伴う責任など、情報モラルを育成する。また、プライバシー保護や著作権尊重の重要性を考えさせる。	27	6	20	8	1	0	3.6	B	
			28	6	13	13	3	0	3.2	B	
			29	8	19	6	1	0	3.8	B	
			30	11	12	12	2	0	3.5	B	
			元	6	22	6	2	0	3.7	B	
環境教育・福祉教育	環境・福祉体験活動等の推進	生徒の身近な問題から環境への関心を高め、より良い環境を創造するための実践力を育てる。	27	5	14	13	3	0	3.1	B	
			28	5	14	13	3	0	3.1	B	
			29	4	19	9	2	0	3.4	B	
			30	6	15	13	3	0	3.2	B	
			元	6	16	11	2	1	3.4	B	
交通安全教育	実践的な安全教育への取り組み	登下校・自転車指導を年2回以上実施し、自他の生命を尊重する意識を高める。	27	14	20	1	0	0	4.3	A	
			28	17	16	2	0	0	4.4	A	
			29	10	17	7	0	0	3.9	B	
			30	21	12	4	0	0	4.4	A	
			元	13	20	3	0	0	4.2	A	